

目指している 「断らない医療体制」の 試行も順調です

開院後の「断らない医療体制」の実現に向け、新潟県立燕労災病院で「プレER救急」を試行しています。救急医が初期診療を行うことで、受け入れる患者を増やしています。救急搬送の受け入れは、開始前の2倍近くになっています。

開院後は、このER救急が本格的に稼働し、地域の中で診療できるケースがさらに増えることが期待されます。



外来プラザ



外来受付

概要

- ところ：三条市上須頃5001番地1
- 病床数：400床（一般396床、感染症4床）
- 運営者：

社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 新潟県済生会
病院長 遠藤直人（現 新潟県立燕労災病院 病院長）

ホームページ：

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>



- 診療科：31科で検討中
*一部、開院と同時に設置されない科があります。

循環器内科、消化器内科、呼吸器・感染症内科、腎臓内科、血液内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科、乳腺外科、心血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、外傷再建外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、総合診療科、リハビリテーション科

内覧会を開催します

と き 2月4日(日)午後1時～4時

開院前の、2階の救急外来と外来受付ホールを見学できます。

昨年開催した市民説明会での質問と回答は、こちらから見られます。



ホームページ

3月1日
開院

問い合わせ

健康づくり課

☎34-5443



特集

済生会新潟県央基幹病院の開院と 地域医療提供体制の再編成について

3月1日に開院する済生会新潟県央基幹病院

3月1日に済生会新潟県央基幹病院が開院します。これにあわせて、県央地域の医療提供体制が再編成されます。今回の特集では、開院する病院と、これからの医療機関のかかり方についてお伝えします。

済生会新潟県央基幹病院

地域の救急医療・専門医療の中心となる病院です。ER救急体制を整備しているほか、高度で専門的な手術、外来にも対応し、「地域で高度な医療を支える柱となる病院」となります。

特徴

- 重症患者に限らず、中等症や軽症まで全ての患者を受け入れるER救急体制を整備しています。
- 手術などの急性期医療や専門的な入院医療を重点的に提供します。そのため、基本的に、救急で搬送された人か、かかりつけ医などを受診して紹介状を受け取った人を中心に受診できます。

